

# ウィークリー・マーケット・ ダイレクション (2024年9月16日～9月20日)



**Amundi**  
Investment Solutions

Trust must be earned



“インフレ率が目標に近づき、FRBの関心は経済成長に移りつつあります。こうしたなか、全体的に機動的なスタンスで債券を分散投資先\*として活用することが一段と重要になっています。”

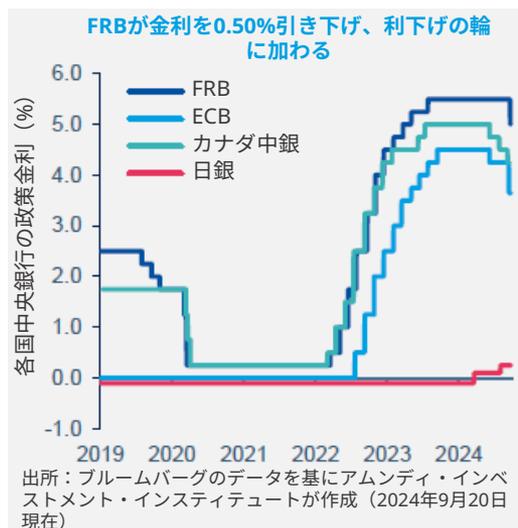
モニカ・ディフェンド  
アムンディ・インベストメント・インスティテュート・ヘッド

## FRBが利下げを実施

FRBが9月にコロナ禍後初の利下げに踏み切り、新たな緩和サイクルに着手しました。

英国とカナダの中央銀行もこの利下げに同調し、政策の足並みは揃いつつある模様です。

こうした利下げとは裏腹に、米国国債の利回りは長期的な観点から依然として魅力的です。



米連邦準備制度理事会（FRB）が直近9月の金融政策決定会合で0.50%の利下げに踏み切りました。当社では、FRBがインフレとの闘いで勝利を確信したのだと考えます。重要なのは、FRBが今年の経済成長予測を下方修正し、失業率予測を上方修正したことです。インフレ率が目標である2%に順調に向かっていること考えると、今後は雇用情勢と経済成長がFRBにとってより大きな懸念になると予想されます。これは米国経済が減速するという当社の見方と一致しており、FRBがこの路線を継続することが示唆されます。

また、この金融緩和姿勢は欧州中央銀行（ECB）など他の中央銀行の政策にも織り込まれていますが、日銀だけは異なる方針を打ち出しています。

## 実行可能な投資アイデア



### 米国債券

国債は景気が減速する局面で魅力的な利回りと分散投資効果\*をもたらす可能性があります。投資家は柔軟なデュレーション管理を継続する余地があります。

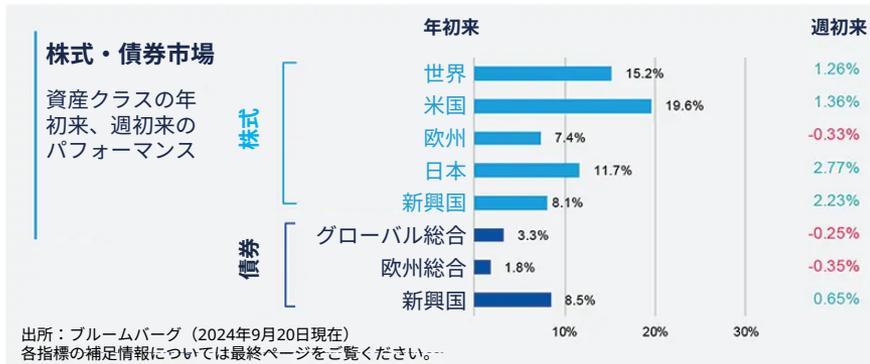


### マルチアセット

債券や金（ゴールド）などの資産を含む柔軟なマルチアセット・アプローチを採用することで、レジリエンスを高めることができる可能性があります。また、景気が上向いた場合には株式の恩恵を享受することも可能です。

## 今週の市場動向

FRBの時宜になかった利下げにより米国経済の景気後退入りが回避されるとの楽観的な見方を背景に、グローバル株式が上昇しました。債券利回りも同じく上昇しました。コモディティ市場では、供給を巡る懸念が原油価格を押し上げたことで、中東地域の地政学的緊張に注目が集まりました。



**国債利回り**

2年物、10年物国債利回りと直近1週間の変化

国	2年物	10年物
米国	3.59 ▲	3.74 ▲
ドイツ	2.23 ▲	2.21 ▲
フランス	2.45 ▲	2.96 ▲
イタリア	2.66 ▲	3.55 ▲
英国	3.92 ▲	3.90 ▲
日本	0.38 ▼	0.84 ▼

出所：ブルームバーグ（2024年9月20日現在）  
直近1週間の変化を示したものを。補足情報については最終ページをご覧ください。

**コモディティ、為替、短期金利**

金 (ゴールド)	原油	ユーロ/米ドル	米ドル/日本円	英ポンド/米ドル	米ドル/人民元	EURIBOR 3ヵ月	T-Bill 3ヵ月
2621.88	71.92	1.12	143.85	1.33	7.05	3.44	4.66
+1.7%	+4.8%	+0.8%	+2.7%	+1.5%	-0.7%		

出所：ブルームバーグ（2024年9月20日現在）  
直近1週間の変化を示したものを。補足情報については最終ページをご覧ください。

## 各地域のマクロ経済動向

### 南北アメリカ



#### 冷え込みつつある米国労働市場

新規失業保険申請件数が前週から減少したほか、継続受給件数（すでに失業保険を受給している人の数）も減少しました。このデータや他の雇用関連指標を総合すると、労働市場は冷え込みつつあるものの、綻びが生じているわけではないことが示唆されます。職を素早く見つけることは、企業が雇用を徐々に減らすことほど簡単ではない状況です。しかし重要なのは、レイオフ（特に恒久的なレイオフ）の伸びが加速していない点です。

### 欧州



#### ユーロ圏インフレの行方が明確に

8月のユーロ圏の消費者物価指数（CPI）確報値が発表され、総合インフレ率は7月の2.6%から2.2%に低下しました。主にサービス価格の高止まりが続いているものの、その他の項目や値動きの小さな品目を見ると、全般的な基調は依然として低下傾向にあり、ディスインフレが順調に進んでいる様子うかがえます。

### アジア



#### 日本のインフレ率は追加利上げを支持

8月の日本のCPIは予想を上回る内容となりました。これは、生鮮食品およびエネルギーを除く総合指数（コアコア指数）が年内は2%前後で安定して推移する可能性が高いことを示しています。コアコア指数が2%に達し、実質賃金（インフレの影響を差し引いた賃金）が順調に伸びるなか、日銀が年内に利上げを実施する可能性が高まっています。しかし、日銀は利上げを実施する前に市場の不確実性を注視するものと思われます。

## 備考

ページ2

### 株式・債券市場（チャート）

出所：ブルームバーグ。各市場の指標として次の指数を使用しています。世界株=MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株=S&P 500（米ドルベース）、欧州株=欧州 Stocks 600（ユーロベース）、日本株=TOPIX（円ベース）、新興国株=MSCI新興国（米ドルベース）、グローバル総合=ブルームバーグ・グローバル総合（米ドルベース）、欧州総合=ブルームバーグ欧州総合（ユーロベース）、新興国債券=JPモルガン EMBI グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）

すべての指数はスポット価格で計算されており、手数料および税金控除前の数値となっています。

### 国債利回り（テーブル）、コモディティ、為替、短期金利

出所：ブルームバーグ（2024年9月20日現在）。チャートではグローバル債券はブルームバーグ・グローバル総合債券インデックス、グローバル株式はMSCIワールド（両指数とも現地通貨ベース）で示されています。

\*分散投資は利益を保証するものでも、損失を防止するものでもありません。

## IMPORTANT INFORMATION

This document is solely for informational purposes.

This document does not constitute an offer to sell, a solicitation of an offer to buy, or a recommendation of any security or any other product or service. Any securities, products, or services referenced may not be registered for sale with the relevant authority in your jurisdiction and may not be regulated or supervised by any governmental or similar authority in your jurisdiction.

Any information contained in this document may only be used for your internal use, may not be reproduced or disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices.

Furthermore, nothing in this document is intended to provide tax, legal, or investment advice.

Unless otherwise stated, all information contained in this document is from Amundi Asset Management SAS and is as of **20 September 2024**. Diversification does not guarantee a profit or protect against a loss. This document is provided on an "as is" basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The views expressed regarding market and economic trends are those of the author and not necessarily Amundi Asset Management SAS and are subject to change at any time based on market and other conditions, and there can be no assurance that countries, markets or sectors will perform as expected. These views should not be relied upon as investment advice, a security recommendation, or as an indication of trading for any Amundi product.

Investment involves risks, including market, political, liquidity and currency risks.

Furthermore, in no event shall any person involved in the production of this document have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages.

Date of first use: **20 September 2024**.

Doc ID: 3875912

Document issued by Amundi Asset Management, "société par actions simplifiée" - SAS with a capital of €1,143,615,555 - Portfolio manager regulated by the AMF under number GP04000036 - Head office: 90-93 boulevard Pasteur - 75015 Paris - France - 437 574 452 RCS Paris - [www.amundi.com](http://www.amundi.com)

Photo credit: ©iStock/Getty Images Plus

MSCI Disclaimer available [here](#)

当資料は、アムンディ・インベストメント・インスティテュートが一般・参考情報の提供を目的として作成した資料を、アムンディ・ジャパン（以下、弊社）が一部翻訳したものです。当資料は、当資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入・売却の勧誘を目的としたものではありません。当資料は法令に基づく開示資料ではありません。当資料中に記載したアムンディ・インベストメント・インスティテュートの見通し、予測、予想意見等（以下、見通し等）は、当資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。当資料に記載されている内容は、全て当資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。当資料に含まれる情報から生じるいかなる責務（直接的、間接的を問わず）を負うものではありません。弊社の許可なく、当資料を複製または再配布することはできません。当資料中に引用した各インデックス（指数）の著作権・知的財産権及びその他一切の権利は、各インデックスの算出元に帰属します。また各インデックスの算出元は、インデックスの内容を変更する権利及び発表を停止する権利を有しています。

商号等：アムンディ・ジャパン株式会社（金融商品取引業者） 関東財務局長（金商）第350号  
加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

(3886728)